

日々の祈り

2021年5月17日(月)~22日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるまに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・聖霊なる神さまの導きの内に、イエスさまのご支配を信じて歩むことが出来るように。
- ・コロナ禍で苦しみや困難の中にある人々に、癒しと平安が与えられるように。
- ・諸教会が、神の国を祈り求めつつ、救いの恵みを力強く証して歩いていくことが出来るように。

17日(月)

使徒言行録1章18節

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。復活のイエスさまは天に上げられる前、使徒たちに「あなたがたの上に聖霊が降る」と約束されました。その約束は、弟子たちが力を受け、地の果てに至るまでイエスさまの証人となる、という約束を伴っていました。そして、その通りになり、彼らが証しした救いを、わたしたちは信じたのです。そして、今や聖霊を受けたわたしたちも、使徒たちに続いて、イエスさまの証人となって歩むのです。

18日(火)

イザヤ書6章8節

そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」わたしは言った。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」

イエスさまの救いに与った者は、皆、召命を受けています。神さまに召されて、救われて、神さまの御業に仕える者とされているのです。今、与えられている場所。家庭も、職場も、生活しているところも、通っているところも、そこは神さまが遣わして下さった場所です。そこにいる人々のために執り成し祈り、イエスさまと共に生きる恵みを証しする歩みが与えられているのです。わたしたちはどこにあっても、主に仕えて、主と共に歩む、幸いな命が与えられています。だから、この召しにお応えしたいのです。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」

19日(水)

ヘブライ人への手紙 12章 1~2節

こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。

イエスさまが、信仰の創始者また完成者です。わたしたちの信仰は、イエスさまによって与えられ、またイエスさまによって完成させられるのです。たくさんの重荷や絡みつく罪の中で、それでもわたしたちが信仰の歩みを全うできるのは、救い主イエスさまが共にいて下さることによるのです。そして、使徒から始まるすべての信仰の先達たちの歩みは、まさにイエスさまがそのような方であることを証ししています。

20日(木)

詩編 33編 8~11節

全地は主を恐れ／世界に住むものは皆、主におののく。主が仰せになると、そのように成り／主が命じられると、そのように立つ。

主は国々の計らいを砕き／諸国の民の企てを挫かれる。主の企てはとこしえに立ち／御心の計らいは代々に続く。

神さまの御言葉、神さまのご計画、神さまの御心の計らいは、必ずそのようになり、そのように立ちます。人の思いや計画を打ち砕き、神さまの御心こそが実現します。神さまの御心とは、神さまがまことに神としてあがめられ、造られたわたしたちが、神さまの愛と恵みにお応えして、神さまと共に喜びの内に永遠に生きることです。

21日(金)

ヨエル書 3章 1~2節

その後／わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し／老人は夢を見、若者は幻を見る。その日、わたしは／奴隷となっている男女にもわが霊を注ぐ。

次の主日礼拝の御言葉です。旧約聖書の時代に、神さまは預言者を通して、すべての人に聖霊を注ぐことを約束して下さいました。そして、救い主イエスさまが遣わされて、十字架と復活の御業によってすべての人の罪が贖われ、この救いを信じて神さまの御許に立ち帰ったすべての人に聖霊が注がれたのです。神さまの救いのご計画の中を、約束と実現の御業の中を、わたしたちは歩んでいます。

22日(土)

使徒言行録 2章 3~4節

そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しました。

明日のペンテコステ礼拝の御言葉です。聖霊が降った出来事が語られています。聖霊を受けた使徒たちは、様々な国の言葉で語り始めました。しかし、語られた内容は同じ一つのこと、「神の偉大な業」(11節)についてです。そして、世界のあらゆる国から来た人々が、それぞれの自分の国の言葉で、イエスさまによって実現した神さまの救いの御業を聞いたのです。聖霊によって、地の果てに至るまですべての人々に、この救いが告げ知らされ、届けられます。